



◀2025東海村文化祭（11/2）

文化祭の会場内に姉妹都市交流協議会のPRブースを設営しており、その説明員としての参加でしたが、その合間に縫って書道連盟のブースにお邪魔をしました。

数十年ぶりに筆を手に握りましたが、静かに姿勢を正して集中するのは、なかなか良いですね。



ティラノサウルスレース in 阿漕ヶ浦（11/23）▶

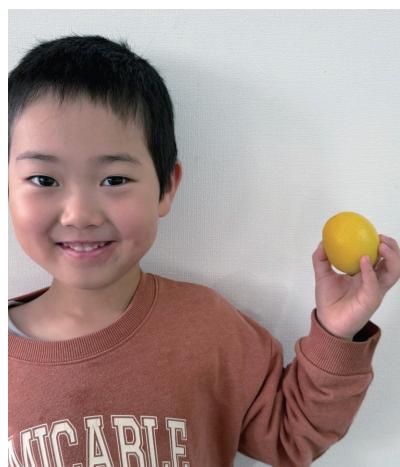
「I-MOのまつり」の会場の一角で開催されたティラノサウルスレース。これは、アメリカで発祥し、全国各地のイベントなどで開催されているティラノサウルスの着ぐるみを着て競争するレースです。

昨年のリベンジを、との思いで出走しましたが、今回も予選敗退となりました。

VOICE

～リレーで綴る村民の声～

子どもが誕生したとき、東海村からレモンの記念樹をいただきました。



庭に植えて毎日水やりをしながら成長を見守りましたが、最初の5年間は実をつけず、待ち続ける日々。

ようやく黄色い実がなったときは本当に嬉しく、収穫したレモンの爽やかな香りに癒されながら、はちみつレモンを作った家族で味わいました。この木は子どもの成長とともに歩んできた大切な存在です。

おち議員には、こうした暮らしを守り、笑顔あふれる東海村づくりをお願いします！

前田 修司さん（豊白在住）

※年賀状の送付は公職選挙法により規制されています。本紙にて新年のご挨拶とさせていただきます。

わかば通信

東海村議会議員

おち辰哉

議会報告



第72号

2026年冬発行

発行人：おち辰哉後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立国分支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

新年を健やかにお迎えのことと存じます。

昨年は、村発足70周年記念のメインイヤーであったことから、様々な行事やイベントが盛大に開催された1年でした。

迎えた2026年の干支は、丙午(ひのえうま)。 「丙」は明るい火を「午」は力強く前へ進む姿を表すとされ、新たな挑戦や前進の年とも言われています。

村政を少しでも前に進めるべく、本年もしっかりと活動していきます。

越智辰哉



NEWS

村公式LINEに「通報機能」を導入



▲村公式LINEのメニュー画面



12月17日から東海村の公式LINEがリニューアルされ、より便利に利用できるようになりました。

今回のリニューアルで新たに追加された機能のひとつが「通報機能」。この機能は近隣自治体でも先行して導入され、一定の成果を上げている取り組みであり、こうした事例を踏まえ、常任委員会（総務委員会）のテーマとしてこの機能の導入を提案。委員会での調査・議論を重ねたうえで、行政に対して申し入れを行い今回の導入に至りました。

この通報機能は、道路の損傷や街路灯の不具合、不法投棄など日常生活の中で気づいたまちの不具合を、住民の皆さんから写真や位置情報とともに村役場へ伝える仕組みです。「気付いたことを直ぐに届けられる」ことから、行政の対応をより迅速にし、安心・安全なまちづくりにもつながります。

今後も、他自治体の先進事例を参考にしながら、村民の皆さんのがより反映される施策を提案していきます。

区画整理事業の推進費など補正予算を可決

令和7年12月定例会を12月1日から18日までの会期で開きました。

今議会では、中央地区の区画整理事業を推進するための繰出金などの補正予算ほか全17件の議案が提出されました。慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。



▲宅地造成工事の様子

CHECK!

中央地区画整理事業の概要

計画面積：82.5ha（東京ドーム17個分）
施工期間：平成7年度～令和16年度
計画人口：5,000人 総事業費：198億円
※進捗率：71.2%

▼これまでの主な公共工事

- ①橋梁を含めた幹線道路の整備（令和3年3月完）
- ②グルーピー緑の木公園の整備（令和6年4月完）
- ③根崎緑地調整池の整備（令和7年度～）
- ④宅地の造成工事（順次）

区画整理事業による副作用？

平成7年度から始まった中央地区の区画整理事業。大型事業であった神楽沢橋の開通やグルーピー緑の木公園の供用開始などにより、計画区域の様相が一変し、東海駅まで徒歩圏内に位置し、病院やスーパーなどが立地するコンパクトな市街地へと変貌を遂げつつあります。また、区域内にある村の保留地の販売も好調で、新しい住居が次々と建てられている状況です。

一方で、区域内およびその周辺には、ドラッグストアが乱立傾向であり、既存の2店舗に加えて建設中が3店舗、さらに他の系列2店舗も同地域への出店を模索しているとのこと。

新しい店舗ができるることは良いことではあります。しかし、地域と業種との偏在が生じており、区画整理事業による「副作用」であると考えます。



越智議員の一般質問



一般質問とは…

住民を代表し、村政全般について村長など執行機関の考え方や方針を問い合わせるものです。

こちらから
録画中継



休日診療の当番医体制の維持は可能か →制度そのものの維持が厳しい状況

Q 本年8月末で東海クリニックが閉院となり、今後の地域医療体制が維持されるのか、住民のなかで不安の声が広がっている。休日診療の当番医体制の現状と今後の課題はどうか。



A 現在、村内6つの医療機関の協力により、輪番制による当番医として日曜・祝日、年末年始をあわせて、令和7年度は年間71日開設している。しかし、医療分野における働き方改革により、休日診療の開設に不可欠な看護師や医療事務員の確保に苦慮していること、また本村では、医師の高齢化や後継者不在等による協力医師の減少が進むことで、各医療機関の当番日数が増加しており、休日診療制度そのものの維持が厳しい状況であることが課題となっている。

Q 今後の対応として、東海村の地域医療を支える拠点施設である「村立東海病院」に対して、すでに休日診療全体の約35%もの受け入れに対応いただいている現状ではあるが、当番医制度の維持に向けてさらなる受け入れ枠の拡大について、依頼すべきではないか。



A 村立東海病院では、他の医療機関に比べ当番回数を多くご負担いただきなどこれまで状況を考慮いただき、ご尽力いただいているが、今後のより厳しい状況に鑑み、一層の受け入れ体制の確保について、ご理解・ご協力いただけるよう調整していく。

公共施設のオンライン予約の見通しは →令和8年9月の導入予定は変更無し

Q これまでの議会答弁では「令和8年9月から県の予約システムが新たに切り替わるタイミングで本格導入する」との方針を示していたが、今後の予定は？

A 昨年3月の定例会において、令和8年9月に新システムを導入する旨お答えしたが、その後に県が導入しようとしているシステムが、本村が想定しているシステムと異なることが判明した。よって、新システムの導入時期は変更せず、県のシステムをあきらめ村独自に進めることに方針転換した。

今後は、施設を利用する方にとっても、システムを管理する側にとっても利便性の向上につながるようなシステムの導入に向け、令和8年9月に供用開始できるよう具体的な検討を進めていく。

コミュニティセンターの設置目的である地域住民の交流や地域活動の推進を図る観点から、住民の方に気軽に来館していただき、ご利用していただくことは重要であると考えている。今後は、コミセンをご利用してこなされた方も気軽に足を運んでいただくための取り組みを進めていきたい。



Q 現状、公共施設の予約に関わる運用が施設ごとに異なっている。オンライン予約システムを導入するタイミングで、村の施設として運用の統一化を図るべきではないか。

A 現状はご指摘のとおりであるが、各施設や利用者・利用団体の状況も確認しながら、可能な限り運用ルールを統一した形で導入できるよう調整ていきたい。

一方で、各施設の予約方法や団体の優先予約については、時期や予約できる期間など複雑なところもあるので、新システムについては、供用開始後も施設の状況や利用者の声をシステムに反映できるよう職員自らが開発できるものとし、利用者のみならず職員にとっても利便性の向上につながるようなシステムの導入をめざしたい。